

様式第1の2（第1条の6関係）

①

危険物 仮貯蔵 承認申請書
仮取扱い

記入例

② 令和〇〇年〇〇月〇〇日

上越地域消防局 ③ 消防局長 殿		申請者 ④ 住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地 (電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)	
		氏名 〇〇株式会社 〇〇工場 工場長 〇 〇 〇 〇	
⑤ 危険物の所有者、管理者又は占有者	住所	〇〇市〇〇町〇番地 電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇	
	氏名	〇〇株式会社〇〇工場 工場長 〇 〇 〇 〇	
⑥ 仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地・名称	〇〇市〇〇町〇番地 〇〇株式会社〇〇工場	
⑦ 危険物の類、品名及び最大数量	第4類第1石油類（非水溶性） ガソリン 2, 000L	指定数量の倍数	10倍
⑧ 仮貯蔵・仮取扱いの方法	ドラム缶10本を工場敷地内の屋外に貯蔵。		
⑨ 仮貯蔵・仮取扱いの期間	令和〇年〇月〇〇日から令和〇年〇月〇〇日まで 10日間		
⑩ 管理の状況（消火設備の設置状況を含む）	バリケードを設置し、周囲へ漏えいしないよう囲いを設置する。 第5種消火設備（10型粉末消火器）2個を設置する。		
⑪ 現場管理責任者	住所	〇〇市〇〇町〇番地 緊急連絡先 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇	
	氏名	〇 〇 〇 〇 【危険物取扱者免状： <input checked="" type="checkbox"/> 有（種類：乙種第4類）・無】	
⑫ 仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理	貯蔵していた施設の改造工事に伴う、危険物の仮貯蔵。 仮貯蔵終了後、貯蔵元施設へ運搬し貯蔵する。		
⑬ その他必要事項	安全対策及び取扱方法は別紙のとおり。		
※ 受付欄		※ 経過欄	
		※ 手数料欄	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
3 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。
4 ※印の欄は、記入しないこと。

【危険物仮貯蔵・仮取扱い承認申請書記入要領】

- ① 仮貯蔵、仮取扱いのいずれか一方しか行わない場合は、実施しない申請を二重線で抹消する。
- ② 申請日（申請書提出日）を記入する。
- ③ 宛先は、「上越地域消防局 消防局長」と記入する。
- ④ 「申請者」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者氏名、事務所等の所在及び電話番号を記入する。
- ⑤ 「危険物の所有者、管理者又は占有者」欄は、仮貯蔵又は仮取扱い（以下「仮貯蔵等」という。）を行う危険物の所有者、管理者又は占有者について記入する。
- ⑥ 「仮貯蔵・仮取扱いの場所」欄は、仮貯蔵等を行う場所の所在地及び名称を記入する。
- ⑦ 「危険物の類、品名及び最大数量」欄は、類、品名、仮貯蔵等をする最大数量及び指定数量の倍数を記入する。
- ⑧ 「仮貯蔵・仮取扱いの方法」欄は、仮貯蔵等の方法を記入する。
- ⑨ 「仮貯蔵・仮取扱いの期間」欄は、期間が10日以内になるように記入する。
- ⑩ 「管理の状況（消火設備の設置状況を含む）」欄は、屋外の場合はバリケード・柵等の設置を、屋内の場合は区画の構造等を記入する。仮貯蔵等を行う危険物に適応した消火設備と数量を記入する。
- ⑪ 「現場管理責任者」欄は、現場管理責任者の住所、氏名、緊急連絡先及び危険物取扱者免状の有無を記入する。
- ⑫ 「仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理」欄は、仮貯蔵等を行う理由を記入する。なお、指定した期間を経過した後の危険物の処理を記入する。
- ⑬ 「その他必要事項」欄は、仮貯蔵等を行う際の安全対策を具体的に記入する。

※ 各欄の記入事項を別紙にして添付することもできる。

【仮貯蔵等の標識及び掲示板】

